

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2021年 第1週 (1/4-1/10) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

| 報告のあった定点数              |          | 1週 | 53週 | 52週 | 51週 |
|------------------------|----------|----|-----|-----|-----|
| 上段:患者数<br>下段:定点当たりの患者数 | 小児科      | 17 | 17  | 16  | 18  |
|                        | 眼科       | 5  | 5   | 5   | 5   |
|                        | インフルエンザ* | 27 | 27  | 25  | 28  |
|                        | 基幹定点     | 1  | 1   | 1   | 1   |

「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数。

| 定点   | 感 染 症 名                   | 千   |            | 葉         |             | 市           |            | 千葉県 |
|------|---------------------------|-----|------------|-----------|-------------|-------------|------------|-----|
|      |                           | 注意報 | 1/4-1/10   | 12/28-1/3 | 12/21-12/27 | 12/14-12/20 | 12/28-1/3  |     |
|      |                           |     | 1週         | 53週       | 52週         | 51週         | 53週        |     |
| 小児科  | RSウイルス感染症                 |     | 0<br>0.00  | 0<br>0.00 | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00  |     |
|      | 咽頭結膜熱                     |     | 1<br>0.06  | 0<br>0.00 | 2<br>0.13   | 1<br>0.06   | 7<br>0.06  |     |
|      | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎             |     | 5<br>0.29  | 1<br>0.06 | 5<br>0.31   | 13<br>0.72  | 28<br>0.22 |     |
|      | 感染性胃腸炎                    |     | 26<br>1.53 | 5<br>0.29 | 21<br>1.31  | 28<br>1.56  | 47<br>0.38 |     |
|      | 水痘                        |     | 2<br>0.12  | 1<br>0.06 | 5<br>0.31   | 6<br>0.33   | 9<br>0.07  |     |
|      | 手足口病                      |     | 0<br>0.00  | 0<br>0.00 | 2<br>0.13   | 1<br>0.06   | 0<br>0.00  |     |
|      | 伝染性紅斑                     |     | 0<br>0.00  | 1<br>0.06 | 2<br>0.13   | 3<br>0.17   | 1<br>0.01  |     |
|      | 突発性発しん                    | ○   | 9<br>0.53  | 4<br>0.24 | 6<br>0.38   | 9<br>0.50   | 12<br>0.10 |     |
|      | ヘルパンギーナ                   |     | 1<br>0.06  | 0<br>0.00 | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 1<br>0.01  |     |
|      | 流行性耳下腺炎                   |     | 1<br>0.06  | 0<br>0.00 | 1<br>0.06   | 0<br>0.00   | 3<br>0.02  |     |
| インフル | インフルエンザ*（高病原性鳥インフルエンザを除く） |     | 7<br>0.26  | 3<br>0.11 | 0<br>0.00   | 2<br>0.07   | 3<br>0.02  |     |
| 眼科   | 急性出血性結膜炎                  | ○   | 1<br>0.20  | 0<br>0.00 | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00  |     |
|      | 流行性角結膜炎                   | ○   | 5<br>1.00  | 1<br>0.20 | 2<br>0.40   | 0<br>0.00   | 4<br>0.11  |     |
| 基幹定点 | 細菌性髄膜炎<br>（髄膜炎菌性髄膜炎を除く）   |     | 0<br>0.00  | 0<br>0.00 | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00  |     |
|      | 無菌性髄膜炎                    |     | 0<br>0.00  | 0<br>0.00 | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00  |     |
|      | マイコプラズマ肺炎                 |     | 0<br>0.00  | 0<br>0.00 | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00  |     |
|      | クラミジア肺炎<br>（オウム病を除く）      |     | 0<br>0.00  | 0<br>0.00 | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00  |     |
|      | 感染性胃腸炎<br>（ロタウイルスに限る）     |     | 0<br>0.00  | 0<br>0.00 | 0<br>0.00   | 0<br>0.00   | 0<br>0.00  |     |

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(595件)

※新型コロナウイルス感染症588件は数のみ

| 病名 | 性  | 年齢層  | 診断(検査)方法   | 病名           | 性  | 年齢層      | 診断(検査)方法   |
|----|----|------|------------|--------------|----|----------|------------|
| 結核 | 男性 | 40歳代 | 病原体の分離・同定等 | 結核           | 女性 | 80歳代     | 画僧検査       |
| 結核 | 男性 | 70歳代 | 病原体等の検出等   | 百日咳          | 男性 | 10歳代     | 抗体の検出      |
| 結核 | 女性 | 20歳代 | IGRA検査     | 梅毒           | 男性 | 80歳代     | 血清抗体の検出    |
| 結核 | 女性 | 60歳代 | 病原体の分離・同定  | 新型コロナウイルス感染症 | 男女 | 0歳代～90歳代 | 病原体遺伝子の検出等 |

・第1週は、結核5件(5)、百日咳1件(1)、梅毒1件(1)、新型コロナウイルス感染症588件(588)の発生届があった。

※ ( )内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

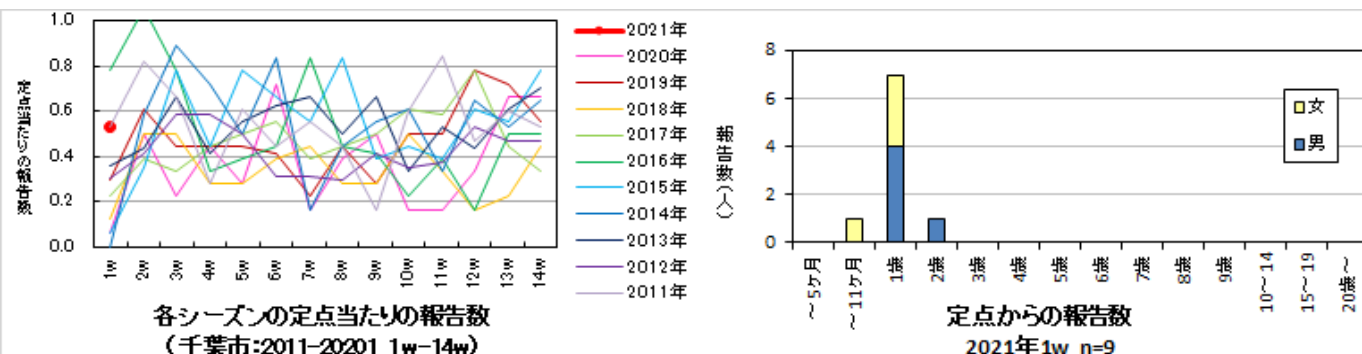
## 定点当たり報告数 第1週のコメント

- ＜突発性発しん＞前週より増加し0.53となった。過去10年の同時期と比べると多め。
- ＜急性出血性結膜炎＞前週より増加し、0.20となった。過去10年の同時期と比べると多い。
- ＜流行性角結膜炎＞前週より増加し、1.00となった。過去10年の同時期と比べると多い。

## ■ トピック ■

### <突発性発しん>

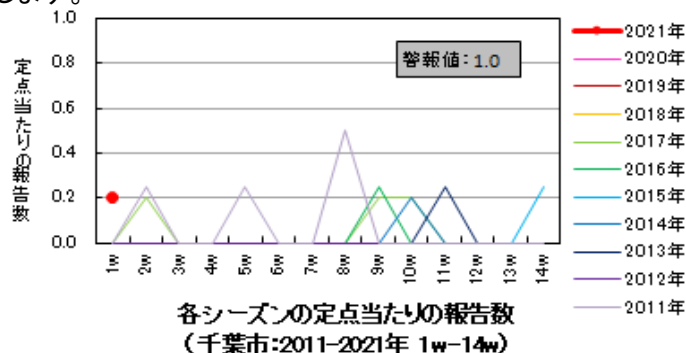
2020年の全国レベルの定点当たりの報告数は、過去10年の同時期と比べると少ないレベルで推移しており、第53週は0.18で同様となっています。都道府県別では、熊本県、宮崎県、大分県の順に多くなっています。千葉県の定点当たりの報告数は0.10で、全国レベルと比べると少なくなっています。千葉市の2021年第1週は前週から増加し0.53となりました。過去10年の同時期と比べると多めとなっています。区別の発生状況は、稲毛区(2.0)で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。報告数は9件で、男性55.6%(5件)、女性44.4%(4件)となっており、年齢階級別では1歳が77.8%(7件)と最も多くなっています。



### <急性出血性結膜炎>

2020年の全国レベルの定点当たりの報告数は、過去10年の同時期と比べると少ないレベルで推移しており、第53週は殆ど報告がありませんでした。都道府県別では、福井県、静岡県、神奈川県に多くなっています。千葉県の定点当たりの報告数はありませんでした。千葉市の2021年第1週は0.20となりました。区別の発生状況は、若葉区の30歳代で発生報告がありました。

急性出血性結膜炎は、エンテロウイルス70型及びコクサッキーウイルスA24変異型の感染によって起こる急性結膜炎で、ウイルスが付着した手で目を触ったり、ウイルスで汚染されたタオルや洗面器に触れることなどで感染します。潜伏期は1日で、強い目の痛み、異物感で始まり、結膜(まぶたの裏を覆って眼球につながる粘膜)の充血や出血を伴うことが多いです。約1週間続いて治癒しますが、6~12か月後に四肢の運動麻痺を来すことがあります。予防方法として、流水下で手指を石鹸で十分に洗うこと、タオルなどの共用を避けることが重要です。ウイルスで汚染した器具や物品の消毒には、煮沸と塩素剤(オーヤラックス、家庭用塩素系漂白剤など)を使用します。



### <流行性角結膜炎>

2020年の全国レベルの定点当たりの報告数は、過去10年の同時期と比べると少ないレベルで推移しており、第53週は0.09で同様となっています。都道府県別では、香川県、茨城県の順に多くなっています。千葉県の定点当たりの報告数は0.11で、全国レベルと比べるとやや多めとなっています。千葉市の2021年第1週は前週から増加し1.00となりました。過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、中央区及び若葉区(共に2.0)で最多で、中央区で30歳代及び50歳代、若葉区で10歳代後半及び20歳代で発生報告がありました。報告があった5件について、男性80.0%(4件)、女性20.0%(1件)となっており、年齢階級別では10歳代後半から50歳代までとなっています。

